



日刊スポーツ豊平川マラソンが開催

男子優勝／遠藤靖士 (北極星 AC)

賞金「10万円」を授与

5月5日(日)に開催された「第31回日刊スポーツ豊平川マラソン」(北海道札幌市 主催:札幌陸上競技協会、北海道日刊スポーツ新聞社)ハーフマラソン男子の部で遠藤靖士選手(北極星 AC)が従来の大会記録を1分53秒更新する1時間6分52秒で優勝しHMCC(ハーフマラソンチャレンジカップ)から遠藤選手に「10万円」の賞金目録が授与されました。HMCCは4月から第1期がスタート。5月の柴田さくらハーフマラソンに続き、2大会連続、3つ目の大会新記録誕生となりました。

遠藤選手コメント>> (レース中は気温が25℃近くまで上がるコンディション)。暑い中でしたが、大会記録更新は意識していました。最初の5kmを速く入り(5km地点での2位とのタイム差は1分19秒)、独走になってからはペース維持を意識しました。(最終的には2位に6分19秒の大差)競って走ればもう少しいいタイムが出たかもしれませんが、大会新記録はとてうれしいです。

○HMCC(ハーフマラソンチャレンジカップ)とは? <http://www.marathon-cc.com/>

MCC(マラソンチャレンジカップ)による「マラソンに挑戦する人すべてを応援するプロジェクト」のコンセプトをハーフマラソンで展開するプロジェクトです。MCC同様に「市民アワード」による大会記録更新者への賞金、初ハーフマラソン完走者、自己ベスト達成者、サブ80分達成者(男子)、サブ90分達成者(女子)への特別記録証発行、MCC公式スマートフォンアプリの提供など、市民ランナーをサポートする様々なサービスを用意し、全国の主要ハーフマラソンと連携。ハーフマラソンを走る喜びを広げる活動を展開しています。

○市民アワード賞金規定

HMCCの規約に定める大会記録を更新して優勝した者に記録ごとに設定された賞金を授与します。

金額	男子更新記録	女子更新記録
20万円	1時間04分59秒以内	1時間13分59秒以内
10万円	1時間05分00秒～1時間07分59秒	1時間14分00秒～1時間17分59秒
5万円	1時間08分00秒以上	1時間18分00秒以上

○第31回日刊スポーツ豊平川マラソン大会 HP: <http://www.toyomara.com/>



札幌市の真駒内セキスイハイムスタジアムが発着点。ハーフと10kmは公認コースとして開催される。例年、桜の開花時期に開催され、北海道のランナーにはシーズン開始を告げる大会として定着している。5km、3km、親子ランを含む総参加数は6,000人(定員)。札幌市を流れる豊平川を中心とするコースは比較的フラットで、記録狙いのランナーも多い。ハーフマラソンの給水は4箇所用意されている。